



第1期 横浜市文化財保存活用地域計画

(計画期間：令和6年度～11年度)

実施報告書

教育委員会事務局

生涯学習文化財課文化財係

明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

方針① 調査の充実と適切な保存

施策Ⅰ 文化財の把握調査、詳細調査などの実施

1. 実績

【凡例】※1…令和4年度実績、基準値
※2…令和11年度実績

指標	計画 掲載※1	実績値（各年度）						目標 値※2
		6	7	8	9	10	11	
専門機関等と連携した文化財の把握調査、 詳細調査件数（単位：件/年）	7	16						10
無形民俗文化財保護団体の現況調査件数 （単位：件/年）	1	2						5
指定等文化財の巡回調査件数（単位：件/年）	8	10						10

2. 取組の成果

- ・市指定文化財の指定に向けて、文化財保護審議会各部会で指定候補等の調査を行った。（R6：3件指定）
- ・ミヤコタナゴ保護育成の課題解決に取り組む検討会を2回実施し、
神奈川県水産技術センター内水面試験場のミヤコタナゴ移動等について検討した。

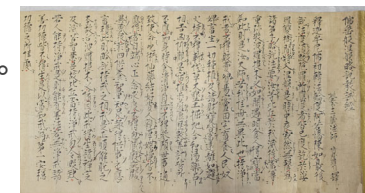
仏垂般涅槃略説教誡經
（仏遺教經）伝 道元筆
（R6市指定文化財）



西教寺本堂
（R6市指定文化財）

3. 今後の予定

- ・天然記念物・無形民俗文化財について巡回調査を継続し、現状と管理状況の把握に努める。
- ・無形民俗文化財保護団体の調査を計画的に実施するほか、未指定文化財の把握調査等の継続的な実施により、文化財保護施策の検討につなげる。



施策2 埋蔵文化財調査の実施

1. 実績

指標	計画 掲載	実績値（各年度）						目標 値
		6	7	8	9	10	11	
土木工事等に伴う試掘調査件数 （単位：件/年）	13	26						36

2. 取組の成果

- ・市内該当地区において、記録保存のため発掘調査を実施した。また、埋蔵文化財センターにおいて、遺物を約500箱実見して出土品等再整理作業を実施した。
- ・埋蔵文化財を適切に取り扱うための手続きを記載した手引き「横浜の埋蔵文化財」を市ホームページに掲載し、事業者へ広く周知した。

3. 今後の予定

- ・引き続き、工事等に伴う発掘調査及び出土品等再整理作業を実施する。
- ・市ホームページに掲載した手引きを必要に応じて随時改訂する。



発掘調査の様子



試掘調査の様子

施策3 制度による保護の推進

1. 実績

指標	計画掲載	実績値（各年度）						目標値
		6	7	8	9	10	11	
文化財保護法・条例に基づく指定・登録文化財の指定・登録数（単位：件）	476	492						487
歴史を生かしたまちづくり要綱に基づく認定歴史的建造物の認定数（単位：件）	100	104						105

2. 取組の成果

- ・大塚・歳勝土遺跡におけるクラウドファンディング型ふるさと納税を実施し、1,313千円の寄附金を保全整備に活用した。
- ・「旧根岸競馬場一等馬見所」の横浜市認定歴史的建造物の認定及び保全活用計画の作成を行った。

3. 今後の予定

- ・横浜市開港記念会館（国重要文化財）の保存活用計画の策定を行う。
- ・文化財所有者・管理者に過去のアンケートの回答内容を踏まえながら、新たにアンケート調査を実施し、最新の課題等の把握に努めます。

改修後の横浜市開港記念会館
写真提供：（株）文化財保存計画協会



旧根岸競馬場一等馬見所

施策4 文化財の防災対策

1. 実績

指標	計画掲載	実績値（各年度）						目標値
		6	7	8	9	10	11	
文化財を対象とした消防訓練の実施 （単位：件/年）	22	21						22
史跡等の崖地の安全対策着手件数 （単位：件/年）	5	5						5

2. 取組の成果

- ・市内文化財を対象とした消防訓練やチラシ配布、消防設備の維持管理等を検査する立入検査を実施した。
- ・他自治体のマニュアル等を参考にしながら、文化財防災マニュアル案を作成した。

3. 今後の予定

- ・計画的な史跡等の崖地安全対策の着手。
- ・県等の関係機関に相談し、文化財防災マニュアルを完成させ、所有者への共有、ホームページ公開等を実施する。



（整備前）



（整備後）



称名寺の消防訓練風景

朝夷奈切通
崖地防災整備工事

施策5 収蔵施設の整備

1. 実績

指標	計画掲載	実績値（各年度）						目標値
		6	7	8	9	10	11	
出土文化財の新たな収蔵場所の確保	-	検討						確保

2. 取組の成果

- ・収蔵場所確保に向けて、廃校等の活用の検討を進めた。
- ・博物館等の収蔵スペースの有効活用と環境整備について、（公財）横浜市ふるさと歴史財団と連携し、実施した。

3. 今後の予定

- ・廃校等の活用を継続して検討する。
- ・引き続き、博物館指定管理者等と連携し、施設の環境整備を推進する。



収蔵庫整理前



収蔵庫整理後

方針② 文化財の特性に応じた活用の推進

施策6 博物館に来館した児童・生徒数

1.実績

指標	計画 掲載	実績値（各年度）						目標 値
		6	7	8	9	10	11	
博物館に来館した児童・生徒数 （単位：人/年）	80,913	79,634						82,000
文化財を活用した訪問授業の参加者数 （単位：人/年）	12,317	15,023						13,000
博物館における講演会・講座の実施件数 （単位：回/年）	44	57						48

2. 取組の成果

- ・所有者や（公財）横浜市ふるさと歴史財団、横浜国立大学の協力を得て、関家住宅特別公開を実施した。（11月）横浜市歴史博物館で関連内容の企画展（青葉・都筑区制30th「丘のよこはま-近代の村の歴史と暮らし-」）を実施した。
- ・青葉区制30周年記念歴史ガイドブック「よこはま青葉の歴史を歩く～7つの探訪コース～」を作成した。連動企画として歴史探訪講座を実施した。

3. 今後の予定

- ・「横浜みなと博物館」では、戦後80年の節目の年に、日本語記載の航海日誌のデジタルデータ等公開、帆船日本丸の戦時中の活動についてパネル展示を開催予定。
- ・文化財課所管施設の管理・運営を行うとともに、老朽化等による不具合が発生している箇所について、修繕の対応を行う。



パネル展示
@横浜みなと
博物館



ガイドブック

施策7 地域活動の活性化

1. 実績

指標	計画掲載	実績値（各年度）						目標値
		6	7	8	9	10	11	
文化財を活用した地域活動の推進	-	推進						推進

2. 取組の成果

- ・地域文化財総合活用推進事業（文化芸術振興費補助金（文化庁補助金））について、保土ヶ谷子ども歌舞伎と、新たに活用要望があった折本囃子連に対して、補助金書類作成の支援及び文化庁宛て補助金申請を行った。
- ・歴史的建造物や遺構を巡るウォーキングガイドや、文化財等を活かしたイベント等を実施した。（各区）

3. 今後の予定

- ・旧川合玉堂別邸（二松庵）庭園の維持管理として、事務棟屋根修繕、危険木剪定・伐採の実施及び、定期開園及び特別開園を実施する。
- ・神奈川台場のVR、AR、郷土学習映像等を作成する。
- ・各区において文化財を活用したイベント等を開催し、文化財への理解促進、地域への愛着を醸成する。



旧川合玉堂別邸庭園の公開



称名寺境内ライトアップ

施策8 歴史を生かしたまちづくり

1. 実績

指標	計画掲載	実績値（各年度）						目標値
		6	7	8	9	10	11	
歴史的風致維持向上計画の策定	-	策定						策定

2. 取組の成果

- ・公園内での古民家や西洋館などの歴史的建造物を公開した。
公園の魅力とともに、地域の歴史や自然を感じる機会を創出した。
- ・「遊休不動産を創造的に活用するためのガイドブック（令和4年3月改訂）等により、遊休不動産の魅力的な活用事例を伝えるとともに、芸術不動産推進機構が相談窓口となり、アーティストやクリエイターなどと不動産オーナーとのマッチングを通じて、遊休不動産の創造的活用を推進した。



寺家ふるさと村

3. 今後の予定

- ・谷戸の原風景である横浜ふるさと村、舞岡公園、新治市民の森を良好に維持し景観を保全する。
- ・旧第一銀行横浜支店では、昨年度決定した活用事業者により拠点をオープンする。その他拠点についても、都心臨海部の歴史的建造物等の創造的活用の継続を通じて、まちの賑わいづくりを進める。



旧第一銀行横浜支店

施策9 文化財を活用した文化芸術活動

1. 実績

指標	計画掲載	実績値（各年度）						目標値
		6	7	8	9	10	11	
横浜能楽堂及び大倉山記念館の年間来館者数合計（単位：人/年）	9.4万	9万						17万
博物館や歴史公園で開催する文化芸術活動の実施回数（単位：回/年）	20	32						26

2. 取組の成果

- ・旧染井能舞台（横浜能楽堂）については、横浜能楽堂が大規模改修工事で休館中であるため未実施。
- ・大倉山記念館については、建物全体を生かしたイベントや講演会を実施した。
- ・称名寺境内において、能や狂言の舞台である「第27回称名寺薪能」を開催した。

3. 今後の予定

- ・大倉山記念館において、大倉山こどもフェスティバル（5月）、大倉山秋の芸術祭（11月）、オープンディ（9月・2月）の他にも、「大倉山」をテーマとした講演会や講座を展開する。
- ・横浜能楽堂改修工事中の代替企画として、小学校を巡回する「狂言と能の出前講座」を実施する。



狂言と能の出前講座

方針② 文化財の特性に応じた活用の推進

施策10 文化財を活用した賑わい創出

1. 実績

指標	計画 掲載	実績値（各年度）						目標 値
		6	7	8	9	10	11	
市指定文化財横浜開港資料館（旧英国総領事館）の来館者数（単位：人/年）	32,000	39,734						112,000
日本丸メモリアルパークの入館者数（単位：人/年）	45万	65万						50万
国指定名勝三溪園の有料来園者数（単位：人/年）	247,415	246,122						313,000
横浜美術館の来館者数（単位：人/年）	670,112	34万						100万

2. 取組の成果

- 横浜美術館において、コレクション展示解説事業、文化施設ユニークベニュー促進事業（レイヴイトンジャパン）等を実施した。（文化庁「文化観光拠点計画」はR6年度で終了）

3. 今後の予定

- 横浜開港資料館において、引き続きデジタルアーカイブの公開及び資料のデジタル化を推進する。旧館内部整備工事及び緑化工事を実施。文化観光拠点計画最終年度として、一層魅力ある施設としての運用を開始する。¹¹



ユニークベニュー促進事業

方針③ 多様な主体がつながる仕組みづくり

施策Ⅰ 情報の公開・発信の強化

1.実績

指標	計画掲載	実績値（各年度）						目標値
		6	7	8	9	10	11	
計画に基づく実施報告書の作成と公開	-	-						作成・公開
文化遺産オンラインで登録・公開した文化財件数	-	6						100

2. 取組の成果

- ・「都筑区水と緑の散策マップ」について、令和6年6月に区制30周年を節目にリニューアル版を発行し、区役所売店や市役所内市政刊行物コーナーで販売した。
- ・文化財保存活用地域計画を周知するため関連文化財群を活用した、キービジュアル、歴史博物館での企画展示等にて、活用した。

3. 今後の予定

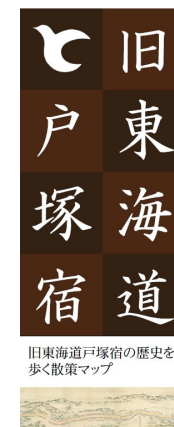
- ・文化財保存活用地域計画に基づく実施報告書について、関係部署の実績をとりまとめたうえで、文化財保護審議会に報告、市ホームページへ公開する。令和7年度以降の計画期間中、毎年度振返りのを実施（作成・公開）する。
- ・「旧東海道戸塚宿の歴史を歩く散策マップ」及び、令和6年度に新たに発行した「戸塚の古道 鎌倉道の歴史を歩く散策マップ」2種類の散策マップを増刷し、配布を継続する。



都筑区水と緑の散策マップ



戸塚区の散策マップ2種



施策12 連携事業の推進と人材育成

1. 実績

指標	計画掲載	実績値(各年度)						目標値
		6	7	8	9	10	11	
市歴史博物館における区・地域との連携事業実施数(単位:件/年)	11	14						14

2. 取組の成果

- ・小机城址に関する連携事業として、区内小学校への出張授業(2回)と動画制作を行った。
地域団体への個別報告、お城EXPO(財団)への出展、講演会を開催した。
- ・クラウドファンディング型ふるさと納税の返礼品として、博物館や茅葺に関するメニューを取り入れた。



小机城址に関する出張授業

3. 今後の予定

- ・泉伝統文化保存会(横浜いずみ歌舞伎・太鼓お囃子・相模凧)の活動支援として、伝統文化イベントを共催・協力して実施する。小・中学校向け体験授業実施へ協力する。
- ・文化庁や県が実施する文化財の保存・活用に関する研修の受講による、文化財課職員の知識の向上に取り組む。



横浜いずみ歌舞伎公演

Ⅱ【参考資料】各指標・取組の詳細について

各指標・取組の詳細については、別添一覧のとおり。

- (1) 指標一覧（兼振返りシート）
- (2) 取組・関連取組一覧（兼振返りシート）

第 1 期 横浜市文化財保存活用地域計画 【令和 6 年度 指標一覧（兼振返りシート）】

【凡例】 達成状況
「順調」 令和11年度までの累積目標・令和11年度の年間目標に対し、順調に事業を推進している場合
「遅れ」 令和11年度までの累積目標・令和11年度の年間目標に対し、目標達成に向けて事業の進みが遅れている場合
「達成」 令和11年度までの累積目標を達成している場合
「未達成」 令和11年度までの累積目標・令和11年度の年間目標が未達成な場合（最終年度のみ選択）

方針 番号	施策 番号	指標 番号	指標 【計画に掲載】	直近実績 【計画に掲載】	目標値	主管局	振返り（令和 6 年度）				
				R4年度	R11年度		R6実績	達成状況	達成状況の理由	具体的な取組内容	次年度以降の取組予定
1	1	1-①	専門機関等と連携した文化財の把握調査、詳細調査件数	7件/年	10件/年	教育委員会事務局	16件	達成	各部会で調査を進め、毎年数件ずつの指定ができ、令和11年度目標を達成した。	各部会において、指定候補案件の調査。	引き続き、各部会にて随時調査の実施、文化財保護審議会において、指定に向けた手続きを行う。
1	1	1-②	無形民俗文化財保護団体の現況調査件数	1件/年	5件/年	教育委員会事務局	2 件	遅れ	調査対象団体の活動・行事の開催時期が不定期であることなど、日程調整が困難であったため。	未指定文化財の把握調査、無形民俗文化財保護団体 2 団体の現況調査を実施し、活動状況の確認や、活動に際しての課題の聞き取り等の実施。	引き続き、無形民俗文化財保護団体の調査を計画的に実施するほか、未指定文化財の把握調査等の継続的な実施により、文化財保護施策の検討につなげる。
1	1	1-③	指定等文化財の巡回調査件数	8件/年	10件/年	教育委員会事務局	10件	順調	計画とおりの事務手続き・調整を行い、令和11年度の年間目標を達したため。	天然記念物7件（9箇所）、無形民俗文化財3件について調査員による調査の実施。	引き続き調査員による調査を実施し、今後の保護施策につなげる。
1	2	2-①	土木工事等に伴う試掘調査件数	13件/年	36件/年	教育委員会事務局	26件	順調	対応が必要な案件について試掘調査を実施。	文化財保護法第93条第 1 項及び第94条第 1 項に基づく届出・通知が提出された案件について、内容を精査した上で試掘調査の実施。	引き続き対応が必要な案件について試掘調査を実施。
1	3	3-①	文化財保護法・条例に基づく指定・登録文化財の指定・登録数	476件	487件	教育委員会事務局	492件	達成	R11年度までの累積目標を達成しているため。	・指定・登録候補文化財調査（6-10月頃） ・文化財保護審議会 諮問・答申（10月） ・横浜市指定文化財の指定（3 件）（11月）	引き続き指定・登録候補文化財の調査の実施。10-11月に文化財保護審議会を開催し、指定・登録の諮問・答申を行う。
1	3	3-②	歴史を生かしたまちづくり要綱に基づく認定歴史的建造物の認定数	100件	105件	都市整備局	104件	順調	令和11年度目標に向けて、順調に認定が進んでいるため。	歴史を生かしたまちづくり要綱に基づく認定歴史的建造物の認定（1 件）	引き続き制度の運用を行う。
1	4	4-①	文化財を対象とした消防訓練の実施件数	22件	22件	消防局	21件	順調	令和11年度目標に向けて年間目標を概ね達成したため。	市内文化財を対象とした消防訓練やチラシ配布、消防設備の維持管理等を検査する立入検査を実施	引き続き、市内文化財を対象とした出火防止及び消防訓練等を実施。
1	4	4-②	史跡等の崖地の安全対策着手件数	5か所/年	5か所/年	教育委員会事務局	5 件	順調	計画とおりの事務手続き・調整を行い、令和11年度目標を達成したため。	・旧川合玉堂別邸庭園敷地内法面整備面工事実施 ・史跡朝夷奈切通崖地防災整備工事実施 ・神奈川県指定史跡稲荷前古墳群崖地防災整備工事設計 ・御伊勢山・権現山敷地境界の伐開・樹木調査 ・川合玉堂別邸排水処理修繕	・史跡朝夷奈切通崖地防災整備工事実施 ・県指定史跡稲荷前古墳群崖地防災整備工事 実施 ・市域史跡等の危険度調査 ・史跡称名寺境内樹木調査
1	5	5-①	出土文化財の新たな収蔵場所の確保	—	確保	教育委員会事務局	検討	順調	廃校等の活用の検討を進めた。	収蔵場所の確保に向けて、廃校等の活用について検討。	廃校等の活用を継続して検討。

方針 番号	施策 番号	指標 番号	指標 【計画に掲載】	直近実績 【計画に掲載】	目標値	主管局	振り返り（令和6年度）				
				R4年度	R11年度		R6実績	達成状況	達成状況の理由	具体的な取組内容	次年度以降の取組予定
2	6	6-①	博物館＊に来館した児童・生徒数	80,913/年	82,000人/年	教育委員会事務局	79,634人	遅れ	一部休館の影響により、来館者数が減少したため。	団体利用の昼食場所確保や予約システムの入替、すぐるを利用した情報発信等の実施。	引き続き来館を受け入れるとともに、来館を促すための広報等を実施。
2	6	6-②	文化財を活用した訪問授業の参加者数	12,317人/年	13,000人/年	教育委員会事務局	15,023人	順調	訪問授業を積極的に周知したことで、令和11年度の年間目標を達成した。	訪問授業の実施。小学校長会等にて訪問授業を積極的に周知することで、参加者数を増加。	引き続き、参加者数が増えるよう周知。
2	6	6-③	博物館＊における講演会・講座の実施件数	44回/年	48回/年	教育委員会事務局	57回	順調	講演会等を多数開催したことで、令和11年度の年間目標を達成した。	展覧会を中心に、専門職員やゲスト講師を招いての連続講座や講演会などを多数開催。	引き続き、多様な組織との連携により、講座や講演会等を開催。
2	7	7-①	文化財を活用した地域活動の推進	－	推進	教育委員会事務局	推進	順調	各区局において地域活動の推進がされたため。	（取組・関連取組一覧参照）	（取組・関連取組一覧参照）
2	8	8-①	歴史的風致維持向上計画の策定	－	策定	都市整備局	策定	達成	令和11年度目標に対し、令和6年度に策定したため。	・横浜市都市美対策審議会、横浜市歴史的風致維持向上協議会、横浜市文化財保護審議会、横浜市都市計画審議会、市会等においての審議・報告 ・市民意見募集の実施 ・計画の認定申請、認定	令和6年度に計画が策定できたことから、次年度以降は計画に記載された事業の推進。
2	9	9-①	横浜能楽堂及び大倉山記念館の年間来館者数合計	9.4万人/年※1	17万人/年	にぎわいスポーツ文化局	約9万人 （大倉山記念館のみの実績）	順調	令和4年度以降から来館者数が増加しているため。 ※横浜能楽堂については、大規模改修工事による休館期間であるため実績なし。	大倉山こどもフェスティバル（5/5実施）、大倉山秋の芸術祭（11月実施）、オープンディ（9月・2月実施）、小さな丘のメリークリスマス（12/10実施）など複数のイベントや講演会の実施。	大倉山こどもフェスティバル（5月）、大倉山秋の芸術祭（11月）、オープンディ（9月・2月）の他にも「大倉山」をテーマとした講演会や講座の展開。
2	9	9-②	博物館や歴史公園で開催する文化芸術活動の実施回数	20回	26回	教育委員会事務局	32回	順調	連携する文化施設との協働によるコンサート等を開催し、令和11年度の目標を達成した。	連携する文化施設と協働で、コンサートや大道芸イベント、ものづくりワークショップ等を開催。	引き続き、多様な組織との連携により、コンサート等を企画・開催。
2	10	10-①	市指定文化財 横浜開港資料館（旧英国総領事館）の来館者数	32,000人	112,000人	教育委員会事務局	39,734人	順調	前年度比で増加しているため。	時宜を得た企画（特別公開）の実施や近隣でのイベントへの参加等による施設の周知。	引き続き、近隣でのイベントに参加し、来館につながるよう施設の周知に取り組む。文化観光拠点計画最終年度であることから、翌年度以降により来館者数が増加するような企画等の検討。
2	10	10-②	日本丸メモリアルパークの入館者数	45万人/年	50万人/年	港湾局	65万人	順調	R6の入館者実績が、R11の目標値を大きく上回ったため	音楽イベント等の誘致・開催、修学旅行誌への告知掲載等の実施。	新たにXを開設し、リアルタイムに情報を発信する。
2	10	10-③	国指定名勝 三溪園の有料来園者数	247,415人/年	313,000人/年	にぎわいスポーツ文化局	246,122人	遅れ	夏の酷暑や、紅葉の色づきの悪さなどにより、有料来園者数が減少したため。	桜・紅葉のイベント及びライトアップ、観蓮会、観月会等、季節に応じた催事の実施	・季節に応じた催事の継続。 ・新たな体験コンテンツの造成。 ・効果的なプロモーションの実施。
2	10	10-④	横浜美術館の来館者数	670,112人/年 ※2	100万人/年	にぎわいスポーツ文化局	34万人	遅れ	令和6年度は休館期間が長かったため。（6/10～10/31まで全館休館、11/1～2/7まで一部のみ開室、2/8～全館オープン。）	令和6年3月15日～6月9日：横浜トリエンナーレ 令和6年11/1～一部開室 令和7年2月8日～：おかえり、ヨコハマ展	令和7年2月8日～6月2日：おかえり、ヨコハマ展 6月28日～11月3日：佐藤雅彦展 12月6日～3月22日：日韓現代美術展

方針 番号	施策 番号	指標 番号	指標 【計画に掲載】	直近実績 【計画に掲載】	目標値	主管局	振返り（令和6年度）				
				R4年度	R11年度		R6実績	達成状況	達成状況の理由	具体的な取組内容	次年度以降の取組予定
3	11	11-①	本計画に基づく実施報告書の作成と公開	—	作成・公開	教育委員会事務局	-	順調	振返りの初年度になる令和7年度に向けて、振返り方法やスケジュールの整理ができたため。	実施報告書の様式作成等を行った。振返りの作成を各区局へ依頼した。	・とりまとめた報告書は、文化財保護審議会に報告、HPへ公開予定。 ・令和7年度以降の計画期間中、毎年度振返りを実施（作成・公開）する。
3	11	11-②	文化遺産オンラインで登録・公開した文化財件数	—	100件	教育委員会事務局	6件	順調	令和6年度の新指定文化財の掲載申請を行い、掲載方法等の確認ができたため。	現在の掲載状況の確認。令和6年度に市指定文化財に指定された文化財について文化庁へ掲載申請。	令和5年度以前に指定された市指定文化財の所有者に対し、掲載の承諾を得る。承諾を得たものから順に、文化庁へ順次掲載申請。
3	12	12-①	市歴史博物館における区・地域との連携事業実施数	11件/年	14件/年	教育委員会事務局	14件	順調	多様な団体と連携してイベント等を開催したことで、令和11年度までの目標を達成した。	市・区をはじめ多様な団体との間で、パネル展示や訪問授業、ワークショップ等を開催した。	引き続き、地域との連携を深め、企画を検討・実施。

第 1 期 横浜市文化財保存活用地域計画 【令和 6 年度 取組・関連取組一覧（兼振返りシート）】

3つの目指す姿と課題	施策	取組番号	重点取組	主な取組	関連取組名	主管区局	関係区局	関係区局	関係区局	①R6年度 取組実績	②次年度 取組予定
まもる 横浜の歴史文化が市民に受け継がれ、大切に守られている姿 [課題] ・文化財に関する継続的な把握調査・追加調査の実施が必要 ・埋蔵文化財調査の継続的な実施が必要 ・適切な保存のための文化財所有者や管理者に対する支援が必要 ・火災、風水害等に対する防災対策が必要 ・文化財の適切な保管・管理が必要	方針 1 調査の充実と適切な保存										
	1 文化財の把握調査、詳細調査などの実施	1-1		市内の文化財の把握調査・詳細調査等の実施	-	教育委員会事務局	都市整備局			・文化財 3 件の指定に向けて、各部会で指定文化財候補等の調査。 ・天然記念物・無形民俗文化財計 10 件について、巡回調査の実施。 ・文化財の移築復元や工事にあたって有識者への意見聴取の実施。	・文化財の指定に向け、各部会で随時調査の実施。 ・市指定・登録文化財等の現況と管理状況を把握するため、巡回調査の実施。 ・文化財の保存・活用のための各修繕や工事にあたり、有識者への意見聴取の実施。
		1-2	★	無形民俗文化財保護団体の現況調査	-	教育委員会事務局				未指定文化財の把握調査、無形民俗文化財保護団体 2 団体の現況調査を実施し、活動状況の確認や、活動に際しての課題の聞き取り等を実施。	引き続き、無形民俗文化財保護団体の調査を計画的に実施するほか、未指定文化財の把握調査等の継続的な実施により、文化財保護施策の検討につなげる。
		1-3		指定等文化財の巡回調査	-	教育委員会事務局				天然記念物 7 件・無形民俗文化財計 3 件について巡回調査を実施し、現状・課題の把握。	引き続き天然記念物・無形民俗文化財について調査を実施し、現状と管理状況の把握。
		1-4		国天然記念物ミヤコタナゴ保護育成（個体数調査、生育環境調査等の実施）	-	教育委員会事務局				・茅ヶ崎公園自然生態園に委託し、ミヤコタナゴ生息環境保全の実施。 ・神奈川県水産技術センター内水面試験場、寺家ふるさと村四季の家、東海大学に委託をし、ミヤコタナゴ保護増殖の実施。 ・10 月に個体数調査の実施。 ・ミヤコタナゴ保護育成検討会を 2 回実施し、神奈川県水産技術センター内水面試験場のミヤコタナゴ移動等について検討。	・引き続き茅ヶ崎公園自然生態園に委託し、ミヤコタナゴ生息環境保全。 ・引き続き神奈川県水産技術センター内水面試験場、寺家ふるさと村四季の家、東海大学に委託をし、ミヤコタナゴを保護増殖の実施。 ・引き続き個体数調査を実施し、寺家ふるさと村四季の家のミヤコタナゴの個体数の確認、池の清掃の実施。 ・ミヤコタナゴ保護育成検討会を開催し、ロードマップ案と神奈川県水産技術センター内水面試験場のタナゴの移動方法等の検討。
	2 埋蔵文化財調査の実施	2-1	★	工事等に伴う発掘調査の実施と出土文化財の再整理	-	教育委員会事務局				・市内該当地区において、記録保存のため発掘調査を実施。 ・埋蔵文化財センターにおいて、遺物を約 500 箱実見して出土品等再整理作業を実施。	引き続き、工事等に伴う発掘調査及び出土品等再整理作業を実施。
		2-2		個人住宅建築に伴う発掘調査の実施	-	教育委員会事務局				発掘調査に至る案件がなかったため未実施。	対応が必要な案件について発掘調査を実施。
		2-3		埋蔵文化財包蔵地外の試掘・確認調査の実施	-	教育委員会事務局				旧深谷通信施設において試掘・確認調査の実施に向けた調整を行った。	旧深谷通信施設において、試掘・確認調査を実施。
		2-4		重要遺跡等の試掘・確認調査の実施	-	教育委員会事務局				重要遺跡の洗い出しを行ったが、対象となる遺跡がなかった。	調査対象となる重要遺跡等について洗い出しを行う。
		2-5		埋蔵文化財の取扱いに関する周知	-	教育委員会事務局				埋蔵文化財を適切に取り扱うため、埋蔵文化財の手続きに関する手引き「横浜の埋蔵文化財」を市ホームページに掲載し、周知した。	市ホームページに掲載した手引きを必要に応じて随時改訂。
	3 制度による保護の推進	3-1	★	文化財保護法・条例と歴史を生かしたまちづくり要綱の連携した運用による保護の推進	-	教育委員会事務局	都市整備局			・教委委員委員会及び都市整備局で連携し、随時情報共有を行い、歴史的建造物の所有者へのヒアリング等の支援 ・「横浜市歴史的風致維持向上計画（素案）」について文化財保護審議会での意見聴取 ・歴史的風致形成建造物の指定について、建造物部会委員に意見聴取 ・認定歴史的建造物の認定：1 件	・教委委員委員会及び都市整備局で連携し、随時情報共有を行い、歴史的建造物の所有者へのヒアリング等の支援 ・引き続き制度運用
		3-1			横浜能楽堂大規模改修	にぎわいスポーツ文化局				大規模改修工事の実施	R 6 年度に引き続き、大規模改修工事の実施（R 7 年度に終了予定）
		3-1			大倉山記念館の維持管理、修繕	にぎわいスポーツ文化局				大倉山記念館内の毎日点検、不具合箇所の確認	大倉山記念館内の毎日点検、不具合箇所の確認。
		3-2		名木古木の保存	-	みどり環境局				・新規指定樹木 8 件 ・維持管理等の助成 75 件	・新規指定樹木の公募（6 月まで） ・維持管理等の助成
		3-3		保存（保全）活用計画の作成の推進	-	各区局	教育委員会事務局	都市整備局		-	-
		3-3			所有者が作成する保存活用計画等の作成支援	教育委員会事務局				随時対応（具体案件については、関連取組として下記に記載）	随時対応（具体案件については、関連取組として下記に記載）
		3-3			国史跡三殿台遺跡の保存活用計画の作成	教育委員会事務局				再整備に向けた課題整理。	遺跡のあり方について検討。

第 1 期 横浜市文化財保存活用地域計画 【令和 6 年度 取組・関連取組一覧（兼振返りシート）】

3つの目指す姿と課題	施策		取組番号	重点取組	主な取組	関連取組名	主管区局	関係区局	関係区局	関係区局	①R6年度 取組実績	②次年度 取組予定	
			3-3			国重要文化財・横浜市開港記念会館の保存活用計画の作成	市民局	中区	教育委員会事務局		保存活用計画素案の作成	令和7年度中に保存活用計画策定	
			3-3			「こども自然公園のゲンジボタル及びその生育地」の保全活用計画の作成	みどり環境局	教育委員会事務局			委託にてホタル生息環境及び頭数確認の実施	例年ホタルの頭数が減少しているため、次年度以降も調査を実施	
			3-3			保全活用計画の作成	都市整備局				保全活用計画の作成：1件	引き続き制度を運用	
						国指定名勝三溪園の保存活用計画の作成	にぎわいスポーツ文化局	教育委員会事務局			・三溪園名勝整備委員会の専門部会である活用検討部会における検討の結果、三溪園の活用に関する答申を、公益財団法人三溪園保勝会が受領 ・所管課として、活用検討部会における検討の支援	・公益財団法人三溪園保勝会により、保存活用計画を策定 ・所管課として、計画策定の支援	
			3-4	★	新たな財源確保	-	教育委員会事務局				・国や民間企業等からの補助金情報を、随時市ホームページへ掲載 ・大塚・歳勝土遺跡でクラウドファンディング型ふるさと納税を実施し、1,313千円の寄附金を保全整備に活用	国や民間企業等からの補助金情報を、随時市ホームページへ掲載。	
			3-5		所有者アンケート等による定期的な現状把握	-	教育委員会事務局				R6年度は未実施（隔年実施のため）	文化財所有者・管理者に過去のアンケートの回答内容を踏まえながら、新たにアンケート調査を実施し、最新の課題等の把握に努めます。	
		4	文化財の防災対策	4-1	★	文化財を対象とした防災訓練の実施	-	消防局	教育委員会事務局			（指標一覧参照）	（指標一覧参照）
				4-2	★	文化財防災マニュアルの作成	-	教育委員会事務局	消防局			他自治体のマニュアル等を参考にしながら案を作成。	県等の関係機関に相談し、マニュアルを確定させ、所有者への共有、市ホームページでの公開等を実施。
				4-3	★	市内の史跡等の産地対策工事等の実施	-	教育委員会事務局				（指標一覧参照）	（指標一覧参照）
		5	収蔵施設の整備	5-1	★	出土文化財の収蔵場所と博物館の収蔵スペースの確保	-	教育委員会事務局				収蔵場所の確保に向けて、廃校等の活用について検討。博物館等の収蔵スペースの有効活用と環境整備について、指定管理者等と連携し、実施。	廃校等の活用を継続して検討。引き続き指定管理者等と連携し、施設の環境整備を推進。
いかす 多様な主体により、様々な視点で文化財が生かされている姿 〔課題〕 ・文化財への理解の促進と価値に配慮した活用が必要 ・文化財に触れ、親しみを感ずる機会の創出が必要	方針2 文化財の特性に応じた活用の推進												
	6	歴史文化を身近に感じ、学ぶ機会の充実	6-1		博物館等の管理・運営	-	教育委員会事務局				・開港資料館外構タイル修繕等の指定管理施設の修繕を実施。 ・埋蔵文化財センターでは雨樋落下事故を受け、フェンス設置や外壁補修等の修繕の実施。	・所管施設の管理・運営を引き続き行うとともに、老朽化等による不具合が発生している箇所について、修繕等の対応 ・次期指定管理者の選定	
			6-2		市内の史跡等の公開・管理	-	教育委員会事務局				所管する市内の史跡等の公開・管理	所管する市内の史跡等の公開・管理	
			6-3		文化財を活用した学校教育への支援	-	教育委員会事務局	教育委員会事務局			出前授業の実施（10校）。	引き続き、出前授業の実施。	
			6-4		市史資料等の保存活用	-	総務局				・室内展示の開催（3回） ・講演会の開催 ・刊行物の発行 ・レファレンス、資料の閲覧等 ・資料等特別利用承認	【R7年度は市史資料室移転のため一部業務縮小】 ・レファレンス、資料の閲覧等 ・資料等特別利用承認	
			6-5		地域の歴史講座、講演会等の実施	-	各区局				-	-	
			6-5		金沢を知る講演会	金沢区					神奈川県立金沢文庫にて、講師をお呼びし、「室町時代の釜利谷郷と京都―新史料をてがかりに―」の開催。（来場者：58人）	R7年度も予算要求し講演会を開催。	
			6-5		金沢区民のための歴史講座	金沢区					金沢県立金沢文庫にて、学芸員の方を講師とした「大仏師運慶と金沢」の開催。（来場者：119人）	R7年度も予算要求し講座を開催。	
			6-5		「港北地域学」講座	港北区					講座実施（4回：68人）	講座実施（4回）	
			6-5		港北区内の小学校向けの普及啓発事業	港北区					区内小学校への出張授業（2回）	区内小学校への出張授業（2回）	

第1期 横浜市文化財保存活用地域計画 【令和6年度 取組・関連取組一覧（兼振返りシート）】

3つの目指す姿と課題			施策		取組番号	重点取組	主な取組	関連取組名	主管区局	関係区局	関係区局	関係区局	①R6年度 取組実績	②次年度 取組予定
			6-5				小机城址に関する動画の作成・公開	港北区					動画の制作	動画の公開
			6-5				青葉のあゆみ歴史探訪講座 青葉のあゆみ歴史講演会	青葉区					【青葉のあゆみ歴史探訪講座】 青葉区域の郷土史にちなんだ歴史講座及び歴史探訪を実施。令和6年度は区制30周年記念誌と連動したコースを設計。実施回数全9回（歴史講座4回、歴史探訪5回）、延べ参加者数707名。 【歴史講演会】 青葉区域の郷土史にちなんだ講演会を実施。実施回数1回、参加者数45名。	令和7年度以降も予算要求し、同様の連続講座及び講演会を開催
			6-6		国指定重要文化財の特別公開	-	教育委員会事務局				-	-		
			6-6			関家住宅特別公開事業	教育委員会事務局				・11月23日に所有者や（公財）横浜市ふるさと歴史財団学芸員、横浜国立大学の協力を得て、関家住宅特別公開を実施 ・横浜市歴史博物館で関連内容の企画展を実施	11月頃に関家住宅特別公開を実施		
			6-7	★	博物館における普及啓発、体験事業の充実	-	教育委員会事務局				博物館等において、指定管理者によるイベントの企画・開催。企画展について、市ホームページ等に掲載し周知の支援。	引き続き指定管理者によるイベントの企画・開催。企画展について、市ホームページ等に掲載し周知を支援。		
			6-7			-	港湾局				日本初の常設体験型VR（仮想現実）シアターなどの最新の映像技術を活用し、横浜港の歴史を体感できる機会の提供	戦後80年の節目の年に、日本語記載の航海日誌のデジタルデータ等の公開、帆船日本丸の戦時中の活動についてパネル展示の開催		
			6-8	★	横浜市歴史博物館の展示リニューアル検討	-	教育委員会事務局				指定管理者選定に向けた準備。	次期指定管理者の選定。選定後は、指定管理者と協力し検討。		
			6-9		史跡三殿台遺跡の再整備にむけた検討	-	教育委員会事務局				再整備に向けた課題整理。	遺跡のあり方について検討。		
			7	地域活動の活性化	7-1		地域、関係団体等の協働による文化財の活用	-	各区局				-	-
		7-1			旧川合玉堂別邸（園庭緑地）保全活用事業	金沢区	教育委員会事務局			・法面整備工事施工、排水施設修繕施工、危険木伐採（3件） ・定期開園（12回）及び特別開園（1回）実施（利用者数：968人）	・事務棟屋根修繕、危険木剪定・伐採 ・昨年度同様に定期開園及び特別開園を実施			
		7-1			篠原城址の活用検討	港北区				小机城址ガイドマップ内に篠原城の歴史や、篠原城関係団体のホームページに掲載したものを、区役所や城郷の地区センターに通年配架。関係団体が作成した篠原城紹介パンフレットをお城EXPOで配架。	R6の内容を継続			
		7-2		文化財に関する活動への支援	-	各区局				-	-			
		7-2			緑区遺産の登録事業（緑区遺産来訪者向け案内物設置に関する補助金）	緑区				新規登録0件、補助金支出0件	23番目の緑区遺産登録に向け取り組む			
		7-2			地域文化財総合活用推進事業（文化芸術振興費補助金）を活用した活動支援	教育委員会事務局				・例年本補助金を活用している保土ヶ谷こども歌舞伎と令和7年度の新たに本補助金の活用要望があった折本囃子連に対して、補助金書類作成の支援。 ・文化庁等に対し、補助金の申請等の実施。	・引き続き地域文化財総合活用推進事業（文化芸術振興費補助金）の活用要望があった団体への補助金書類作成支援を実施。 ・文化庁・県・補助事業者と調整の上、補助金申請手続きを実施。			
		7-3		地域の文化財を活用したイベント等の実施、散策ルートの設定や案内板の整備	-	各区局				-	-			
		7-3			港北オープンガーデン	港北区				・第12回港北オープンガーデンの開催（参加会場138か所、来場者数約42,973人）と第13回の企画 ・イベント開催記者発表、参加会場交流会の実施 ・パンフレットを作成し、市ホームページへ掲載・地区センターや地域ケアプラザ等へ配架	令和7年度「第13回港北オープンガーデン」の開催及び第14回の企画			
		7-3			区内の歴史的な建物をめぐるウォーキング	港北区				ウォーキングの実施（3回）（参加者数：154人）	実施予定無し			

第1期 横浜市文化財保存活用地域計画 【令和6年度 取組・関連取組一覧（兼振返りシート）】

3つの目指す姿と課題			施策	取組番号	重点取組	主な取組	関連取組名	主管区局	関係区局	関係区局	関係区局	①R6年度 取組実績	②次年度 取組予定
				7-3			区内の史跡等をめぐるウォーキングガイド	旭区				・ガイドボランティア実施事業への後援（広報等への協力） ・旭区福祉保健課主催の「あさひさんさんウォーク」へのスポット提供	・ガイドボランティア実施事業への後援（広報等への協力）
				7-3			旧東海道・歴史史跡等を活用したイベントの実施	神奈川区				実施日：11月24日（日） イベント内容：重ね捺しスタンプラリー、お寺等での飲食、ステージイベント等 参加者：延べ1700人	旧東海道・歴史史跡等を活用したイベントを秋頃実施
				7-3			歴史の道ガイドパネル等の更新	神奈川区				劣化した歴史の道ガイドパネル等の更新（6件）	劣化した歴史の道ガイドパネル等の更新
				7-4			神奈川台場のVR、AR、郷土学習映像等の作成及び活用	神奈川区	都市整備局	にぎわいスポーツ文化局	教育委員会事務局	神奈川台場のVR、AR、郷土学習映像等の作成に向けた調査、検討	神奈川台場のVR、AR、郷土学習映像等の作成
				7-3			称名寺のライトアップ	金沢区				ライトアップ実施。（10日間、来場者：2,827人）散策ルートの一つとして一定の集客があった。	区域内の称名寺を活用した散策ルートを活かし、称名寺のライトアップを行います。
				7-3			区内のみどりと花を巡るウォーキング	都筑区				1回目：山田富士公園のスイレン（場所）・67人（参加者） 2回目：四季の森公園、里山ガーデン（場所）・59人（参加者）	・R7年度も予算要求し、イベントを年2回実施
				7-3			つるみ夢ひろばin総持寺	鶴見区				11/3（日）に鶴見夢ひろばin総持寺実行委員会が主催でイベントを実施。（参加者数：約2万人）	R7年度は、10/26（日）にイベントを実施。
				7-3			磯子七福神めぐり	磯子区				令和7年1月5日実施 参加人数：257人	令和8年1月4日実施予定
				7-3			歴史を生かしたまちづくり（イベント実施）	戸塚区				2024とつか宿場まつり 10/26（土）・27（日）開催 （参加者数：1518人）	年1回開催 R7年度は11/29（土）・30（日）開催
				7-3			旧東海道の道案内看板の設置	戸塚区				引き続き設置	引き続き設置
				7-3			保土ヶ谷歴史まちあるき	保土ヶ谷区				歴史的建物や遺構を巡るガイドツアー及びフリーウォークの開催。 【ガイドツアー】参加者数76人（申込105人） 【フリーウォーク】3日間開催。横浜ウォーキングポイントスタンプイベント参加者数延べ473人	R7年度も予算要求し、ガイドツアー及びフリーウォークを開催
				7-3			西区虫の音を聞く会（万灯・ぼんぼりの灯火のもと茶会の開催、琴・尺八の演奏等の区民交流）	西区				虫の音を聞く会を開催（1回、参加者数：8,000人）	虫の音を聞く会を開催
				7-3			ウォーキングイベント（区内の神社仏閣・史跡巡り）	瀬谷区				ウォーキングイベント（区内の神社仏閣・史跡巡り）の実施（9回、参加者数：482人）	ウォーキングイベント（区内の神社仏閣・史跡巡り）の実施
			8 歴史を生かしたまちづくり	8-1		歴史を生かした都市空間の形成	-	都市整備局	都市整備局	都市整備局		認定歴史的建造物の認定：1件 特定景観形成歴史的建造物の指定：1件	引き続き制度運用
				8-2		谷戸の原風景の保全	-	みどり環境局	みどり環境局	みどり環境局	みどり環境局	横浜ふるさと村、舞岡公園、新治市民の森を良好に維持し景観を保全	横浜ふるさと村、舞岡公園、新治市民の森を良好に維持し景観を保全
				8-3		歴史的建造物の保全活用に係る支援	-	都市整備局				認定歴史的建造物に対する保全活用助成：2件、 維持管理助成：31件	引き続き制度運用
				8-4		公園内における歴史的建造物の公開・活用	-	みどり環境局				古民家や西洋館などの歴史的建造物の公園内での公開。公園の魅力とともに、地域の歴史や自然を感じる機会の創出。	引き続き、古民家や西洋館などの歴史的建造物を、民間の活力を活用しながら公園内で公開し、市民や来場者が公園の魅力とともに、地域の歴史や自然を感じる機会の創出。

第1期 横浜市文化財保存活用地域計画 【令和6年度 取組・関連取組一覧（兼振返りシート）】

3つの目指す姿と課題	施策			取組番号	重点取組	主な取組	関連取組名	主管区局	関係区局	関係区局	関係区局	①R6年度取組実績	②次年度取組予定		
				8-5		震災復興橋梁の保全	-	道路局				・宮川橋、黄金橋、旭橋の補修工事完了（R5年度から開始） ・打越橋の補修工事の実施（R1年度より開始、継続） ・道慶橋の補修工事の実施（R6年度より開始、継続）	・西区霞橋灯具の復元工事の実施 ・道慶橋の補修工事の実施（R6から継続）		
				8-6		遊休不動産の創造的活用（芸術不動産）	-	にぎわいスポーツ文化局				「遊休不動産を創造的に活用するためのガイドブック（令和4年3月改訂）」等により、遊休不動産の魅力的な活用事例を伝えるとともに、芸術不動産推進機構が相談窓口となり、アーティストやクリエイターなどと不動産オーナーとのマッチングを通じて、遊休不動産の創造的活用の推進。	引き続き、芸術不動産推進機構が中心となり、遊休不動産の創造的活用のを推進。		
				8-7		創造界限拠点としての活用	-	にぎわいスポーツ文化局				関内・関外地区をはじめとする都心臨海部の歴史的建造物等を創造的活動の拠点として活用し、まちの賑わいづくりを進めた。また、旧第一銀行横浜支店の活用事業者を公募により決定。	旧第一銀行横浜支店では、昨年度決定した活用事業者により拠点をオープン。それ以外の拠点については、引き続き、都心臨海部の歴史的建造物等の創造的活用を通じて、まちの賑わいづくりを進める。		
				8-8	★	歴史的風致維持向上計画の策定検討	-	都市整備局	各区局			横浜市歴史的風致維持向上計画の策定	同計画の運用		
		9	文化財を活用した文化芸術活動	9-1		文化財を活用した文化芸術活動	-	にぎわいスポーツ文化局				旧染井能舞台（横浜能楽堂）については、横浜能楽堂が大規模改修工事で休館中であるため未実施。 大倉山記念館については、建物全体を生かしたイベントや講演会を実施。	旧染井能舞台（横浜能楽堂）については、横浜能楽堂が大規模改修工事で休館中であるため未実施。（R7年度工事終了予定） 大倉山記念館については、建物全体を生かしたイベントや講演会を実施。		
				9-1			-	各区局				-	-		
				9-1		「狂言と能の出前講座」の実施	西区			小学校を巡回する「狂言と能の出前講座」の実施（3回） 計425名参加（小学5・6年生）	小学校を巡回する「狂言と能の出前講座」の実施				
				9-1		称名寺薪能	金沢区			称名寺境内において、能や狂言の舞台である「第27回称名寺薪能」の開催。（来場者：1,384人）	称名寺境内において、歴史文化の魅力を感じつつ、能や狂言の鑑賞などの古典芸能に親しむ機会を創出。				
				9-1		大塚・蔵勝土遺跡公園や横浜市歴史博物館における音楽コンサート	教育委員会事務局			・7/24～8/1に、都筑芸術文化協会とともに弦楽オーケストラ講座ジュニアストリングスを5回開催。 ・11/17に、横浜歴博もりあげ隊によるバロックコンサートを1回開催。 ・3/1～4に、つづき地域活動ホームくさぶえと、つづきアート＆ミュージックネクストを1回開催。	地域の団体と連携し、前年同様に開催を予定。企画については横浜市歴史博物館等のホームページへ掲載。				
				10	文化財を活用した賑わい創出	10-1	★	横浜開港資料館における文化観光拠点としての機能強化	-	教育委員会事務局				デジタルアーカイブの公開及び資料のデジタル化の推進。連絡通路等のバリアフリー工事を実施。	引き続きデジタルアーカイブの公開及び資料のデジタル化の推進。旧館内部整備工事及び緑化工事を実施。文化観光拠点計画最終年度として、一層魅力ある施設としての運用開始。
						10-2	★	横浜美術館における文化観光拠点としての機能強化	-	にぎわいスポーツ文化局				・横浜美術館美術資料の画像公開推進事業 ・コレクション展示解説事業 ・多言語による美術作品情報提供推進事業 ・時間制来館者システム運営事業 ・カフェスペース活用事業 ・WEBサイト構築事業 ・横浜美術館バリアフリー向上事業 ・横浜美術館案内サイン改修事業 ・文化施設ユニークビュー促進事業（ルイヴィトンジャパン）	「文化観光拠点計画（文化庁認定）」はR6年度で終了だが、 ・横浜美術館美術資料の画像公開推進事業 ・多言語による美術作品情報提供推進事業 については継続して実施
		10-3	★			横浜港に関する文化財を活用した賑わい創出	-	港湾局				総帆展帆を年12回実施 青少年鎌成のための「海洋教室」等の開催	総帆展帆を年12回実施 青少年鎌成のための「海洋教室」等の開催		
		10-4	★	三溪園における観光資源としての磨き上げ	-	にぎわいスポーツ文化局				・桜・紅葉のイベント及びライトアップ、観蓮会、観月会等、季節に応じた催事を実施 ・三溪園の高付加価値体験コンテンツの販売 ・三溪園の本質的価値を体験するコンテンツの造成、ガイドブックの作成等	・桜のライトアップや観蓮会、観月会、紅葉等、季節に応じた催事の実施 ・三溪園の高付加価値体験コンテンツの販売 ・三溪園の本質的価値を体験するコンテンツの造成、ガイドブックの作成等				

第1期 横浜市文化財保存活用地域計画 【令和6年度 取組・関連取組一覧（兼振返りシート）】

3つの目指す姿と課題	施策	取組番号	重点取組	主な取組	関連取組名	主管区局	関係区局	関係区局	関係区局	①R6年度取組実績	②次年度取組予定	
つながる 文化財を核として、多様なコミュニティやつながりが生まれている姿 〔課題〕 ・情報発信の充実が必要 ・新たな担い手や守り手の創出が必要 ・文化財の保存・活用に関する相互連携・協力体制の整備が必要	方針3 多様な主体がつながる仕組みづくり	11	情報の公開・発信の強化	11-1	調査成果の公表、普及啓発	-	教育委員会事務局				・6、10月に文化財保護審議会の開催。 ・各部会を随時開催した（年5回） ・横浜市文化財調査概報（横浜の文化財 二十九）の刊行	・6、10月頃に文化財保護審議会の開催。 ・各部会を随時開催 ・横浜市文化財調査概報の市ホームページへの掲載
				11-2	歴史文化に関する情報発信、広報	-	各区局			-	-	
				11-2		広報よこはま（市版）及び広報よこはまPLUSを活用した情報発信	政策経営局				広報よこはまへ掲載	広報よこはまへ掲載
				11-2		広報番組を活用した情報発信	政策経営局				市広報テレビ・ラジオ番組で紹介	市広報テレビ・ラジオ番組で紹介
				11-2		ふるさと港南のまち自慢ガイドブック、デジタルマップ	港南区				市ホームページへ掲載。 変更があった場合は適宜更新	市ホームページへ掲載。 変更があった場合は適宜更新
				11-2		（歴史）ウォーキングマップの発行	港北区				増刷（6,000部）、港北観光協会ホームページへ掲載	増刷
				11-2		小机城址ガイドマップ	港北区				情報更新と増刷（20,000部）	増刷
				11-2		歴史マップ等有償刊行物の販売	栄区				3種類の刊行物を販売。 販売数 栄区郷土史ハンドブック119冊 栄区歴史散策マップ59冊 栄の歴史16冊	引き続き3種類の刊行物を販売
				11-2		瀬谷の史跡めぐりガイドブック	瀬谷区				「瀬谷ふるさと歴史さんぽ道」等を歩くと、「瀬谷の史跡めぐりガイドブック」を記念品として贈呈	「瀬谷ふるさと歴史さんぽ道」等を歩くと、「瀬谷の史跡めぐりガイドブック」を記念品として贈呈
				11-2		瀬谷ふるさと歴史さんぽ道（ガイドマップ）	瀬谷区				瀬谷ふるさと歴史さんぽ道ガイドマップの配布	瀬谷ふるさと歴史さんぽ道ガイドマップの配布
				11-2		『図説 都筑の歴史』	都筑区				全ての販売場所で完売。市内の図書館で閲覧・貸出可能。	引き続き市内の図書館で閲覧・貸出可能。
				11-2		『図説 都筑の歴史』ナナメ読み新聞	都筑区				市ホームページより閲覧可能。	引き続き市ホームページより閲覧可能。
				11-2		都筑区水と緑の散策マップ	都筑区				令和6年6月に区制30周年を節目にリニューアル版を発行し、区役所売店や市役所内市政刊行物コーナーで販売。	令和7年度も引き続き区役所売店や市役所内市政刊行物コーナーで販売
				11-2		旧東海道戸塚宿の歴史を歩く散策マップ	戸塚区				「旧東海道戸塚宿の歴史を歩く散策マップ」に加え、新たに「戸塚の古道 鎌倉道の歴史を歩く散策マップ」発行。 区役所や区内施設、歴史関連イベント等で配布。	旧東海道・鎌倉道2種類の散策マップを増刷し、配布を継続
				11-2		「よこはま中区の歴史を碑もとく絵地図」の発行	中区				区内に点在する「もののはじめ」や横浜開港の歴史を伝える碑を紹介する街歩きマップ「よこはま中区の歴史を碑もとく絵地図」を活用したまち歩きイベントの実施。（10月31日 20人参加）	区内に点在する「もののはじめ」や横浜開港の歴史を伝える碑を紹介する街歩きマップ「よこはま中区の歴史を碑もとく絵地図」を活用したイベントの実施（12月）
				11-2		散策ルート「温故知新のみち」活用（ガイドツアー、イベント）、周知	西区				散策マップの増刷（5,000冊）、配布	散策マップの配布
				11-2		情報誌「ふるさと西区」の発行	西区				情報誌「ふるさと西区」の発行（1回、6,000部）	情報誌「ふるさと西区」の発行
				11-2		まち歩きマップの発行	西区				市ホームページへの公開、西区役所での配布	市ホームページへの公開、西区役所での配布
				11-2		横浜南区ガイドマップの発行、京急主要駅及びPRボックス等への配架	南区				発行回数：1回 配架箇所数：54箇所（うち京急12駅）	調整中
				11-2		青葉区制30周年記念『よこはま青葉の歴史を歩く～7つの探訪コース』制作・販売	青葉区				区制30周年を記念し、区内の寺社や史跡等を巡る、歴史のガイドブックを制作。2,500部を発行、うち2,000部を区役所売店や区内の書店等で有償販売とし、残り500部は史跡等の所有者や制作協力者、区内図書館、区民利用施設、小中学校等へ配布。	有償販売は終了したが、区内図書館や区民利用施設の図書コーナー等で引き続き配架・貸出（一部閲覧のみ）。

第1期 横浜市文化財保存活用地域計画 【令和6年度 取組・関連取組一覧（兼振返りシート）】

3つの目指す姿と課題			施策	取組番号	重点取組	主な取組	関連取組名	主管区局	関係区局	関係区局	関係区局	①R6年度 取組実績	②次年度 取組予定
				11-2			畠山重忠公に関する冊子	旭区				冊子を区役所、区民利用施設にて配布	区役所、区民利用施設にて配布を継続
				11-2			畠山重忠公に関する啓発物品の作成	旭区				重忠あさひくんを含むシールを作成し区民に配付	重忠あさひくんを含むシールを区民に配付
				11-2			歴史ガイドマップの配布	神奈川区				歴史ガイドマップの配布	歴史ガイドマップの継続配布
				11-2			「ほどがや散策ガイド」の発行	保土ヶ谷区				区役所にて配架	区役所にて継続配架
				11-2			昔ばなし紙芝居作成、YouTubeでの公開	港北区				動画の公開	引き続き公開
				11-2			新・あさひ散歩（ウォーキングMAP冊子）	旭区				旭区観光協会が区民利用施設にて販売を継続	旭区観光協会が区民利用施設にて販売を継続
				11-2			広報誌「ぐるっと」の発行	交通局				歴史文化に関する情報を組み込んだ広報誌の発行。	歴史文化に関する情報を組み込んだ広報誌の発行。
				11-2			「横浜水道130年史」の発行	水道局				水道事業の記録集・資料集として引き続き市ホームページで公開及び市立図書館で配架・貸出	水道事業の記録集・資料集として引き続き市ホームページで公開及び市立図書館で配架・貸出
				11-2			伝承プロジェクト「磯子の祭景」（DVD作製）の活用	磯子区				冊子として図書館、公共施設等に配架済み（令和元年度）参考資料として、磯子文化資源発掘隊（地域の街歩き）で活用	引き続き、地域の情報収集時の参考資料として活用
				11-2			泉伝統文化保存会の活動紹介を目的としたチラシ、ポスターの製作やデジタル媒体での広告掲載	泉区				・伝統文化イベントのポスター・チラシの作製 ・伝統文化イベントのデジタル広告の作製・放映 ・伝統文化のパネル展示を実施 ・広報よこはま泉区版での特集記事の掲載	・伝統文化イベントのポスター・チラシの作製、 ・伝統文化のデジタル広告の作製・放映 ・伝統文化のパネル展示を実施 ・広報よこはま泉区版での特集記事の掲載
				11-3		関連文化財群を活用した情報発信、広報	-	教育委員会事務局				キービジュアル、動画の作成。歴史博物館での企画展示等にて、活用。	R6年度に作成したコンテンツを活用した情報発信、広報の実施。
				11-4		博物館の収蔵資料のデジタル化と公開	-	教育委員会事務局				デジタルアーカイブに登載可能な高精細のデジタル撮影。	横浜開港資料館では、引き続き文化観光拠点計画に基づく補助事業（令和7年度終了）にて資料のデジタル化の推進。
				11-4			横浜水道アーカイブス	水道局				水道施設等の歴史的写真を引き続き市ホームページで公開	水道施設等の歴史的写真を引き続き市ホームページで公開
				11-5	★	文化財に関するホームページの充実	-	教育委員会事務局				PRコンテンツ作成とあわせて、掲載内容の検討。民俗関連の情報を掲載。	引き続き、掲載内容の検討および随時更新。
			12	12-1	★	博物館における連携事業の推進と人材育成		教育委員会事務局	各区局			-	-
			連携事業の推進と人材育成	12-1			市民と協働による茅の確保と茅葺屋根の維持管理	教育委員会事務局				・文化財の普及啓発に関して大学と連携した。 ・クラウドファンディング型ふるさと納税の返礼品として、博物館や茅葺に関するメニューを入れた。	市民ボランティアとともに例年同様に差し茅のボランティア活動を実施予定。
				12-1			小机城址に関する連携事業	港北区	教育委員会事務局			・区内小学校への出張授業（2回）と動画制作 ・地域団体への個別報告、 ・お城EXPO（財団）への出展、講演会の開催	・区内小学校への出張授業と動画制作 ・講演会の開催
				12-1			区内の横浜市登録歴史的建造物の関連作品寄贈に向けた連携	南区				作品搬出：3回	作品搬出：複数回予定
				12-2		地域の歴史文化を次世代に伝える連携事業の推進と人材育成	-	各区局				-	-
				12-2			泉伝統文化保存会（横浜いずみ歌舞伎・太鼓お囃子・相模風）の活動支援	泉区				・いずみ相模風揚げ会、泉区太鼓・お囃子フェスティバル、横浜いずみ歌舞伎公演を共催 ・小・中学校向けの体験授業実施への協力等	伝統文化イベントを共催・協力して実施、小・中学校向けの体験授業実施への協力
				12-3	★	文化財行政を担う職員の人材育成	-	教育委員会事務局				・文財課職員の文化庁行政講座及び国宝・重要文化財（美術工芸品）防災・防犯対策研修会の受講による知識の取得	国文化庁や県が実施する文化財の保存・活用に関する研修の受講による、文化財課職員の知識の向上

※博物館…横浜市教育委員会が所管する、横浜市歴史博物館、横浜開港資料館、横浜都市発展記念館、横浜ユーラシア文化館、横浜市三股台考古館、横浜市八聖殿郷土資料館、埋蔵文化財センターを指す。